

NEWS

第5回「税に関する論文」を募集中!
締切りは、6月30日(火)まで!
詳しくは、納税協会ホームページへ

- | | |
|-------------|--------------|
| (社) 上京 納税協会 | (社) 福知山 納税協会 |
| (社) 左京 納税協会 | (社) 舞鶴 納税協会 |
| (社) 中京 納税協会 | (社) 宇治 納税協会 |
| (社) 東山 納税協会 | (社) 宮津 納税協会 |
| (社) 下京 納税協会 | (社) 園部 納税協会 |
| (社) 右京 納税協会 | (社) 峰山 納税協会 |
| (社) 伏見 納税協会 | |

各納税協会では、ホームページを開設して独自の情報を発信しています。

多彩な年間行事で情報を収集
税務署は良きアドバイザー

右京納税協会青年部会には、京都の伝統産業をはじめ、IT関連会社、建設業、食品会社など、同世代の多種多様な業種の経営者がいらつしゃいます。懇親会や他府県の青年部会との交流、税務研修や工場視察など、年間行事も非常に充実していて、私のような個人事業者にとっては、格好の情報収集の機会にもなっています。

当会に入って個人的に大きく変わったと思うのが、税務署に対する感覚です。以前は何となく「近寄りたくない」イメージがありました。が、研修会などの機会に職員の方々と話してみると、実は税について色々教えてくれるアドバイザーだと分かってきました。実際、事業承継のための相続・贈与に関する税について教えていただいたことが経営に大いに役立った経験もあり、そうした意味でもこの会への入会を、周囲に勧めていこうと思っています。

お茶は「究極のもてなし」と言われます。もう25年以上この世界で仕事をしていきますが、知れば知るほど奥深いものを感じます。商うのは道具であっても、お届けしたいのは「おもてなしの心」です。時代とともに茶道人口は減っていますが、日本が生んだこの素晴らしい文化を、未来に引き継いでいくことが自分の使命。目先の利益を求めず、じっくりと良い品を選び、世の中に提案していくことで、茶の湯文化をより多くの方にお伝えしたいと願っております。

当店は、「茶の湯」に関わるさまざまな品々を商っております。茶席に飾る掛軸や花器、茶碗や茶入、茶杓等の茶道具はもとより、懐石料理で使われる膳・椀・皿など、茶の湯の世界を形作る多様な道具・美術品を「茶道美術」として捉え、自分なりの美意識・価値観で選んだ品を提案していくことが私の仕事です。



(社) 右京納税協会 青年部会
茶道美術 有限会社 居原田
店主 居原田 芳樹

「茶道美術」の提案を通して
茶の湯文化の発展を担う

がんばる経営者を
応援する納税協会

今回の若手経営者をご紹介いたします。

CHALLENGE
2009

